2023年１０月１日（日）

ウィキペディアタウンin松原市

**ウィキペディア編集のため文化財資料の探し方：大阪府の遺跡を中心に**

松原市教育委員会

文化財課　大矢　祐司

1. 調べ方を調べる
   1. 国立国会図書館「リサーチ・ナビ」

国立国会図書館ホームページでは、主題や資料の種類ごとの調べ方のコツについて「[リサーチ・ナビ](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/index.html)」で紹介しています。文化財については、主に以下のような主題があります。

●[文化財を調べる](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/heritage.html)｜[地方指定文化財を調べる](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/local_heritage.html)｜[文化財の修理報告書を探す](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/heritage-report.html)｜[日本の遺跡を調べる](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/ruins.html)｜[絵図・古地図を探す](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/maps/theme_honbun_101029.html)｜[建築作品の雑誌記事を探す](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/post_186.html)｜[美術作品（日本）の図版を探す](https://rnavi.ndl.go.jp/jp/guides/theme_honbun_101099.html)

* 1. 大阪府立中之島図書館「大阪ページ」

大阪府立中之島図書館ホームページでは、大阪に関する資料と所蔵する古典籍についての調べ方を「[大阪ページ](https://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/)」で紹介しており、以下のようなテーマがあります。

●[大阪の地名を調べるには](https://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/guide-chimei.html)｜[大阪の近代建築](https://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/guide-kinken.html)｜[大阪の橋](https://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/bridge.html)｜[大阪の雑誌〈地域情報編〉](https://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/guide-osk-tz.html)

1. インターネットで単語から調べる

現在、さまざまな資料が全文検索可能な形で公開され、データベースもあります。そこで、ウィキペディアで編集したい項目と関係する単語を検索すれば、効率的に資料へアクセスすることができます。

●[ジャパンサーチ（国立国会図書館）](https://jpsearch.go.jp/)｜[NDL ONLINE（国立国会図書館）](https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/)｜[全国遺跡報告総覧（奈良文化財研究所）](https://sitereports.nabunken.go.jp/ja)｜[CiNii Research（国立情報学研究所）](https://cir.nii.ac.jp/)｜[文化遺産オンライン（文化庁）](https://bunka.nii.ac.jp/)｜[ColBase: 国立文化財機構所蔵品統合検索システム（国立文化財機構）](https://colbase.nich.go.jp/)

●「[刀剣類出土遺跡データベース（古代歴史文化協議会）](https://kodairekibunkyo.jp/touken-date.html)」「[遺跡発掘調査報告書 放射性炭素年代測定データベース](https://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/esrd/db_param)（国立歴史民俗博物館）」「[神社データベース（國學院大學）](http://kojiki.kokugakuin.ac.jp/jinjya/)」「[武鑑全集（人文学オープンデータ共同利用センター）](http://codh.rois.ac.jp/bukan/)」

1. 地図から調べる
   1. 奈良文化財研究所「文化財総覧WebGIS」

奈良文化財研究所ホームページでは、「[文化財総覧WebGIS](https://heritagemap.nabunken.go.jp/)」で文化財６６万件の位置が公開されています。地図上で目的の場所にある文化財（遺跡・史跡・建造物・有形文化財など）を調べることができ、「全国遺跡報告総覧」に刊行物データが収録されている場合は、URLが記載されています。

* 1. 大阪府「地図情報システム」

大阪府ホームページでは、「[地図情報システム](https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyokanri/cals/tizu.html)」で指定文化財（史跡や建造物など不動産のみ）・登録文化財・埋蔵文化財（遺跡）の位置が公開されています。１９６４年～２００１年にかけて刊行された『大阪府分布図』で遺跡の名称や範囲の変遷をたどることができます。

* 1. 松原市「文化財分布図」

松原市ホームページ内の「[松原市文化財分布図](https://www.city.matsubara.lg.jp/bunka/bunkazai/5/5536.html)」のページで、『文化財分布図２０１７』が公開されています。地図の縮尺は１万分の１で、遺跡の範囲のほか社寺や道標などの位置も示されています。これまで、２００６年・２０１１年・２０１３年に刊行されています。

* 1. 宮城県「ひなたGIS」

「[ひなたGIS](https://hgis.pref.miyazaki.lg.jp/hinata/)」は宮崎県が運営しているＧＩＳ（地理情報システム）で、全国の統計・地図データが閲覧できます。背景レイヤーの文化財フォルダには、全国旧石器時代遺跡や全国縄文・弥生集落遺跡などがあり、地図上で特定の時代の遺跡を探すことができます。

* 1. その他の地図サイト

[地理院地図（電子国土Web）](https://maps.gsi.go.jp/)では国指定の史跡・名勝・天然記念物の位置が示されています。また、２０１９年以降には[自然災害伝承碑](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html)も追加されています。また、他にGｏｏｇｌｅマップやＯｐｅｎＳｔｒｅｅｔＭａｐなどでも一部の文化財について位置が示されています。

1. 自治体ウェブサイトを調べる

各自治体は、運営するウェブサイトで文化財の一覧表・地図（分布図）を公開しています。都道府県と市区町村はそれぞれの行政域内で発掘調査を行い、条例に基づき文化財を指定・登録しています。また、全国にある公立埋蔵文化財センターも発掘調査の情報を公開しています。

大阪府ホームページでは、府内の指定・登録文化財の一覧が「[大阪府の文化財](https://www.pref.osaka.lg.jp/bunkazaihogo/bunkazai/index.html)」、大阪府が実施した発掘調査や出土品の資料が「[埋蔵文化財情報](https://www.pref.osaka.lg.jp/bunkazaihogo/maibun/index.html)」のページで公開されており、遺跡の範囲（文化財情報）が「[地図情報システム](https://www.pref.osaka.lg.jp/jigyokanri/cals/tizu.html)」で公開されています。また、[（公財）大阪府文化財センターホームページ](https://www.occh.or.jp/)では、発掘調査資料などが公開されています。

松原市ホームページでは、市内に所在する文化財について「[指定・登録文化財](https://www.city.matsubara.lg.jp/bunka/bunkazai/4/index.html)」・「[埋蔵文化財包蔵地（遺跡）](https://www.city.matsubara.lg.jp/bunka/bunkazai/9/index.html)」・「[配布資料](https://www.city.matsubara.lg.jp/bunka/bunkazai/5/index.html)」などのページで情報が公開されています。遺跡の範囲はPDF形式の「文化財分布図」で公開されています。また、「[まつばら文化財デジタルアーカイブ](https://www.city.matsubara.lg.jp/bunka/bunkazai/culturalheritage_digitalarchive.html)」では写真や古文書の翻刻が自由に二次利用可能なライセンスで公開されており、ウィキペディアの記事にすぐ利用できます。

1. 自治体刊行物を調べる
   1. 自治体史

近代以降、自治体は行政区域内での歴史を編さんして冊子を刊行しています。自治体史には、時代順に出来事を記述したもの（本文編・通史編）と特定分野についてまとめたもの（考古編・古文書編・建築編など）があります。

松原市史は[１](https://id.ndl.go.jp/bib/000001789164)・[２](https://id.ndl.go.jp/bib/000009394857)巻が本文編で、[３](https://id.ndl.go.jp/bib/000001386336)・[４](https://id.ndl.go.jp/bib/000001231116)・[５](https://id.ndl.go.jp/bib/000001231117)巻が古文書・古記録の翻刻を収録した資料編です。資料集と研究紀要には民家建築や検地帳など個別調査の成果が収録されています。なお、過去の行政区域は現在と異なるため、隣接する自治体史（美原町史・羽曳野市史・平野区誌など）やより広範囲を扱った大阪府史にも関係する資料が掲載されています。

* 1. 国や都道府県の文化財調査報告書

国や都道府県が特定の文化財について悉皆的に行った調査の報告書があります。大阪府では以下のようなものがあります。

●[有形文化財・無形文化財等総合調査報告書](https://id.ndl.go.jp/bib/000002301350)｜[大阪府の近世社寺建築](https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000002188667-00)｜[長尾街道・竹内街道　歴史の道調査報告書第３集](https://id.ndl.go.jp/bib/000002001065)（[歴史の道調査報告書集成１](https://id.ndl.go.jp/bib/000007688537)に再録）｜[南河内における中世城館の調査](https://id.ndl.go.jp/bib/000009902934)

* 1. 市町村の文化財調査報告書

市町村は域内の文化財について調査を行い、その成果として報告書を刊行しています。多くの遺跡の発掘調査報告書には「遺跡の位置と環境」「総括」「抄録」という項目があります。どんなに分厚い報告書でも、これらにまず目を通すことをおすすめします。先に紹介した「[全国遺跡報告総覧](https://sitereports.nabunken.go.jp/ja)」のサイトで閲覧可能なものもあります。

* 1. 自治体広報誌

各自治体の広報誌には、地域の歴史や文化財を紹介する記事が掲載されているケースがあります。松原市の『[広報まつばら](https://www.city.matsubara.lg.jp/shisei/kouhou/3/index.html)』には、西田孝司氏（文化財保護審議会委員）が「[松原歴史ウォーク](https://www.city.matsubara.lg.jp/bunka/work/index.html)」を掲載しています。市ホームページで全文が公開されており、検索が容易です。

1. 事典・辞典類を調べる

ウィキペディアの項目を編集する際には、その分野の事典・辞典が参考になります。専門家が限られた文字数で執筆しており、項目の骨子をつかむこともできます。

●[日本歴史地名大系第２８巻（大阪府の地名）](https://id.ndl.go.jp/bib/000001777845)｜[角川日本地名大辞典２７（大阪府）](https://id.ndl.go.jp/bib/000001634903)｜国史大辞典｜[角川日本史辞典 新版](https://id.ndl.go.jp/bib/000002561723)｜[日本考古学事典](https://id.ndl.go.jp/bib/000003636277)｜[歴史考古学大辞典](https://id.ndl.go.jp/bib/000008458189)｜日本城郭大系｜近畿の城郭I～IV｜[図説　民俗建築大事典](https://id.ndl.go.jp/bib/000003043881)｜[日本美術史事典](https://id.ndl.go.jp/bib/000001864153)｜[仏教美術事典](https://id.ndl.go.jp/bib/000003648653)

1. 雑誌を調べる

文化財に関する書籍・発掘調査報告書・論文を効率よく集めるためには、以下のような雑誌が有効です。また、大阪の歴史や文化を幅広く扱った雑誌にも研究者が執筆したものが掲載されており、ウィキペディアの記事を編集する参考になります。

* [月刊考古学ジャーナル](https://id.ndl.go.jp/bib/000000006781)/ニュー・サイエンス社/１９６６年～（１年の動向を特集する号がある）
* [月刊文化財](https://id.ndl.go.jp/bib/000000006962)/第一法規/１９６３年～（文化庁監修のため国指定文化財の情報が豊富）
* [文化財発掘出土情報：歴史・考古・文化遺産の情報誌](https://id.ndl.go.jp/bib/000000037834)/ジャパン通信情報センター/１９８２年～
* [大阪春秋：大阪の歴史と文化と産業を発信する](https://id.ndl.go.jp/bib/000000025726)/新風書房/１９７３年～２０２１年
* [河内どんこう](https://id.ndl.go.jp/bib/000000028731)/やお文化協会/１９７６年～２０２０年

1. 昔の地誌類を調べる
   1. 近世の地誌類

古墳や伝承地など一部の遺跡は地誌類に記録があります。消滅した古墳などの姿を知る手がかりとなる場合もあります。松原市を含む河内国では、以下のようなものがあります。自治体史の資料編に部分的に抜粋されていることもあります。

国立国会図書館・国立公文書館・大学や研究機関のデジタルアーカイブでは、ウィキペディアに掲載できるライセンスで公開されているものがあります。

●[河内鑑名所記](https://id.ndl.go.jp/bib/000001510709)｜[日本輿地通志畿内部（五畿内志）](https://id.ndl.go.jp/bib/000001393121)のうち河内志｜[河内名所図会巻之四](https://id.ndl.go.jp/digimeta/2563474)｜河内国陵墓図

* 1. 近代の地誌類や雑誌

明治時代以降は、自治体史の編さんが始まり、史蹟（遺跡）を集成した冊子や研究雑誌も多く刊行されています。現存しない古墳や天守閣などの写真が収録されていることもあり、著作権保護期間満了のものは画像をウィキペディアに掲載することができます。

●[大阪府誌](https://id.ndl.go.jp/bib/000001213394)｜[中河内郡誌](https://dl.ndl.go.jp/pid/9572500/1/1)｜[大阪府全志巻ノ四](https://id.ndl.go.jp/digimeta/965801)｜[恵我村地誌資料 第１輯](https://id.ndl.go.jp/bib/000000739947)｜[大阪府史蹟名勝天然記念物](https://id.ndl.go.jp/bib/000001218775)｜[摂河泉金石文](https://id.ndl.go.jp/bib/000000569460)｜[大日本地名辞書](https://id.ndl.go.jp/bib/000000942779)｜[国史大辞典[本編]](https://dl.ndl.go.jp/pid/992408) ｜[考古学雑誌](https://id.ndl.go.jp/digimeta/3548508)

1. 参考文献から調べる

書籍・論文・展示図禄などの資料には、末尾に引用・参考文献リストがあります。集めた資料に頻出する文献は、記事の編集に必須である可能性が高いものです。

国立国会図書館デジタル化資料のうち絶版本など入手困難なものは、[個人向けデジタル化資料送信サービス](https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html)により[国立国会図書館デジタルコレクション](https://dl.ndl.go.jp/)で閲覧可能です。

1. 大阪にある図書館で調べる

以下のように、大阪府内にはそれぞれ役割の異なる図書館が資料を収集・保管しています。また、博物館・美術館・大学図書館も蔵書を閲覧できます。

図書館の収集した一般の流通ルートに乗らない灰色文献は、郷土・地域・行政資料コーナーにあります。地域のユニークな文化財の項目を編集する際は、必ず確認しましょう。

* [国立国会図書館関西館](https://www.ndl.go.jp/jp/kansai/index.html)：複数納本された図書・雑誌、文科省科研費報告書、国内博士論文など
* [大阪府立中之島図書館](https://www.library.pref.osaka.jp/site/nakato/)：大阪資料古典籍室、新聞室（府立中央図書館と分担して新聞のバックナンバーを保管）、デジタル情報室（新聞記事検索）
* [大阪府立中央図書館](https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/)：国際児童文学館、こども資料室/研究資料コーナー、新聞コーナー、社会自然系資料室（府下自治体広報紙所蔵、[Web OYA-bunko](https://www.oya-bunko.or.jp/magazine/tabid/73/Default.aspx)など雑誌記事検索）
* [大阪市立中央図書館](https://www.oml.city.osaka.lg.jp/)：大阪コーナー、地図コーナー（住宅地図バックナンバーあり）
* [大阪歴史博物館](https://www.osakamushis.jp/)：学習センターなにわ歴史塾（大阪に関する蔵書のほか館蔵の古文書・古典籍の複製本も閲覧可能）
* [大阪自然史博物館](https://www.omnh.jp/)：図書コーナー

1. 記事の書き方も調べる

記事の出典となる資料探しは重要な作業ですが、集めた資料を読み、頭の中で整理し、読んでもらえる記事にするためには、言葉選びや文章構成も大切です。図書館には、文章を書くためのテクニックを教えてくれる本があります。自分に合うものを探してみてください。また、文章の表記ゆれを減らすために『[日本語の正しい表記と用語の辞典 第３版](https://id.ndl.go.jp/bib/024385816)』のような辞書も手元にあると便利です。

ウィキペディア編集のため文化財資料の探し方：大阪府の遺跡を中心に © 2023 by [松原市教育委員会](https://www.city.matsubara.lg.jp/) is licensed under [CC BY 4.0](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja)